

# 「教わる」「習う」「学ぶ」の使い分けに 関する研究\*

金昌奎\*\*

(e-mail: kcg2@pusan.ac.kr)

## 【Abstract】

According to the analysis, *osowaru* is only used when it portrays the meaning “to listen” and the meaning of *oshietemorau*. The latter refers to the point of view of the one who teaches. *Narau* is only used when it is interpreted as “to imitate,” “to learn,” and “to study” and when the subject is centered in the one who learns. The subject should be specific as possible. *Manabu* is only used when it means “to study academically,” “to acquire,” and “to master a certain skill” and when the sentence is centered in the object, more vague and less distinguishable compared to other cases. Looking solely at the meaning, “to listen” is only used with the term *osowaru*. “To imitate,” “to learn,” and “to study” are only used with *narau* and “to study academically,” “to acquire,” and “to master a certain skill” are only used with *manabu*. Looking at the perspective, if the perspective is on the lecturer, *osowaru* is the term used. If the perspective is on the learner, both *narau* and *manabu* are used, however, depending on the size of the object range, the usage for *narau* and *manabu* is different. *Narau* is used if the object range is specifically mentioned and *manabu* is used if the range is unspecified. Meanwhile, the usage of all the terms, *osowaru*, *narau*, and *manabu*, can only be allowed at the same time if the interpretation of the sentence fulfills the meaning and the function of all three words.

**key words** : Focus, Tangible, Abstract, Intangible, Semantic function

\* 이 논문은 부산대학교 기본연구지원사업(2년)에 의해 연구되었음.

\*\* 釜山大学校 教授 日本語学

## 1. 始めに

日本語の動詞「教わる」「習う」「学ぶ」は以下で見るように互いに言い換えが可能な類義語であり、この三つの語の使い分けは韓国人日本語学習者にとって難しい。故に、各々の意味機能を究明し、その使い分けを明らかにする必要があると考える。

- 今までに習った{教わった、学んだ}漢字の中で、うろ覚えのものは何回か書いて覚えてしまいなさい。(国)

上の文を見ると、同じ構文に「教わる」「習う」「学ぶ」が同時に許容されている。が、文の意味ニュアンスは少し異なっている。これはつまり「教わる」「習う」「学ぶ」が各々構文における固有の意味機能を持っているということを意味する。このことから本稿においてこれらの意味機能を明らかにし、韓国人日本語学習者がこの三つの語の使い方を理解するのに役に立たせたい。

## 2. 先行研究

「教わる」「習う」「学ぶ」の使い分けに関する研究論文は管見の限り見当たらない。そこで、以下、外国人日本語学習者がよく利用している三つの辞書と『基礎日本語 I — 意味と使い方』に載せられている説明を挙げると、次のようである。

### 1) 『広辞苑』

- 教わる：<他五>教えられる。教えを受ける。知らせてもらう。例) 学校で教わったこと。道を教わる
- 習う：<他五>①くりかえして修め行う。②教えられて自分の身につける。まなぶ。例) ピアノを習う
- 学ぶ：<他五>①まねてする。ならって行う。②教えを受ける。業を受ける。習う。③学問する。例) 物理学を学ぶ。

### 2) 『類語例解辞典』

- 習う、教わる：教えてもらう、指導を受ける意。広くいろいろな場合に使われるが、「教わる」は口語的な言い方。例) 柔道は父に習った。お茶とお花を習う。英会話を教わる。駅へ行く道を教わる。
- 学ぶ：教えを受けたり見習ったりすることによって、知識や技術を身につける意。やや古い言い方。

	大学で哲学を一	車の運転を一	本で一
教わる	○	○	△
習う	○	○	—
学ぶ	○	—	○

3) 『日本語学習使い分け辞典』

○教わる：知らないことやわからないことの知識や情報を、だれかから得ること。そのものだけのことで、ある程度の期間でもかまわない。

例) 来週から青木さんの家でお花を教わることになりました。

先月私たちは、佐々木さんに教わった温泉に行って来ました。

○習う：ものごとの技術ややり方を、先生や専門の人あるいは、そのことをよく知っている人に教えてもらうこと。ある程度の期間をかけるという感じがある。

例) 私は子供のころバレエを習っていました。

私は習ったことはないけれども、ギターを弾ける。

○学ぶ：人に教えてもらったり、また、教えてもらわなくても、体験したり見たりして、学問や知識、技術など役立つことを身につけていくこと。

例) 加藤さんと私は、同じ大学で学びました。

子供たちはキャンプ生活から、多くのことを学んだ。

4) 『基礎日本語 I 一意味と使い方』

○「教わる/習う」は直接行為。「教わる」は直・間接二つの場合があり、「学ぶ」も二つの場合が見られるが、どちらかと言えば間接行為。これは「～ている」を付けてみるとよくわかる。「教わっている」「習っている」は「B先生から/B先生について/B先生に」直接指導を受けている現在進行形。

AさんはいまB先生  $\left\{ \begin{array}{l} \text{から} \\ \text{について} \\ \text{に} \end{array} \right. C \text{を} \left\{ \begin{array}{l} \text{教わっている} \\ \text{習っている} \end{array} \right.$

○「通信教育で学ぶ」など「学ぶ」は“勉強する、自学自習する”といった自習的学習。間接的授受

関係である。「実習現場に入って大いに学ぶ」「大いに学ぶところがあった」など間接行為。「学ぶ」は、ほかに「言語学を学ぶ」のように「を」格を取ることできるが、これは「A教授について言語学を学ぶ」のように直接行為。一方、「K大学に学ぶ」「福沢諭吉に学ぶ」など「、、ニ学ぶ」文型で表す行為は“教育を受ける、倣う、師事する”など間接行為に近い。

Aはいま、、  $\left\{ \begin{array}{l} \text{で} \\ \text{に} \\ \text{から} \end{array} \right. \left. \right\} \text{学んでいる(間接行為)}$

AはいまB先生  $\left\{ \begin{array}{l} \text{について} \\ \text{に} \end{array} \right\}$  Cを学んでいる (直接行為)

以上を見ると、『広辞苑』と『類語例解辞典』の説明よりは『日本語学習使い分け辞典』の説明の方がより詳しいことがわかる。しかし、『日本語学習使い分け辞典』の説明もおおまかなものであり、正確だとは言いがたい。そして、『基礎日本語 I 一意味と使い方』における説明は三つの語の使い分けに関する説明から遠ざかっていることもわかる。このようなことから、以下では「一語のみ可能である場合」と「二語が可能である場合」と「三語が可能である場合」に分けて、実際の多くの例文を綿密に検討し、三つの語の使い分けを明らかにする。

### 3. 一語のみ可能である場合

#### 3.1 「教わる」のみ可能である場合

- (1)先月私たちは、佐々木さんに教わった{??習った・??学んだ}温泉に行って来ました。(日)  
 (2)山の中をあちらこちらと、先輩に教わった{??習った・??学んだ}場所を歩き回った。(国)

(1)(2)における「教わる」は「聞く」という意であり、この場合「習う」と「学ぶ」を使うと、文は不自然になる。ということからは、「聞く」という意味は「教わる」のみの固有の意味領域に当たるものであるということがわかる。

- (3)私が到着したとき、お前たちは海岸に行っていた。あとにはお前の母と私のあまりよく知らないお前の姉とが、二人きりで、留守番をしていた。私は海岸へ行く道順を教わる{??習う、??学ぶ}と、すぐ裸足になって、松林の中、その小径を飛んで行った。(燃)  
 (4)ボオいらしいものの姿も見えないので、帳場で居睡りをしていた背広服の男に、森さんの部屋の番号を教わる{??習う、??学ぶ}と、一人で二階に上っていった。そして教わった番号の部屋のドアを叩くと、中からあの方らしい声かしたので、いきなりそのドアを開けた。(昭)

(3)(4)における「教わる」も「聞いた」という意味に近い「教えてもらった」という意味であり、このため「習う」と「学ぶ」は使われえないと言える。

- (5)普通教育にも理科の課程がかなり豊富にあるようであるから、それがよく呑み込めていれ

ば、それだけでも一通りはかなり役に立つべきはずであるが、実際それがそうでないのは、教える方と教わる{?習う、?学ぶ}方と両方に罪があるであろう。(寺)

(5)は「教える」があるため「教わる」が使われている場合である。すなわち、「教える」と対を成す語、「教えてもらう」という意の語としての「教わる」が使われている場合であり、このため「習う」と「学ぶ」を使うと、文は不自然になるのである。

(6)洋画家の自然に対する態度はとにかく謙遜である。ある者は自然の前に跪拝きはいし、ある者は自然を恋人のごとく愛慕する。そして常に自然から教わる{??習う、?学ぶ}という心掛けを失わない。(偶)

(7)「教わる{??習う、??学ぶ}ことより、自分の力でつくりだし、考えることこそ尊い」という思いがこめられている。(朝日)

(8)私は、自分の国を愛することは人から教わる{??習う、??学ぶ}ことではないと思います。けれど、日本人としての自覚や自分の国を愛することを考える機会には必要だと思いません。(朝日)

(6)(7)(8)においては、「教わる」は「教えてもらう」という意として使われている場合であり、文の焦点が教え側「自然」「他人」「人」にある文、すなわち「自然から教えてもらう」「他人から教えてもらう」「人から教えてもらう」という意味ニュアンスの文なので「教わる」が使われていて、「習う」と「学ぶ」は使われていないということがわかる。

(9)田舎の子に教わって{?習って・??学んで}、ほくも川の魚を突きました。(国)

(10)中学生のくせにタバコを吸ったりして、一体だれにそんな悪いことを教わった{?習った・??学んだ}んだ！(国)

(11)だれに教わった{?習った・??学んだ}の？(外)

(12)あの先生に三年教わって{?習って・??学んで}いる。(外)

(13)教わり{?習い・??学び}たいと思うようないい先生はなかなかいないものだ。(外)

(14)あの人なら安心して教われ{?習え・??学べ}ます。(外)

(9)～(14)においても、「教わる」は「教えてもらう」という意として使われている。文の焦点が教え側、すなわち「だれに」というところに置かれている場合であり、このため「教わる」は使われていても「習う」と「学ぶ」は使われていないのである。

以上のことから、「教わる」のみが使われる場合は「教わる」が「聞く」という意として使われる場合と、「教えてもらう」という意として使われる場合であり、後者の意として使われる場合、文の焦点は教え側に置かれるということが言える。

### 3.2 「習う」のみ可能である場合

(15)戦争中、日本の超国家主義者たちは、ヒットラーに習って{??教わって、??学んで}、日本文化の優秀を世界に誇ろうとして非常に努力した。外務省の国際文化振興会にしても、日本の自然の美しさを高価なグラビア版にうつしたり、雛祭りの飾りを紹介したりして、日本の文化的優越を示そうとした。(宮)

(15)における「習う」は「模倣する」<sup>1)</sup>という意として使われている場合であり、この場合「教わる」と「学ぶ」を使うと、文は不自然になる。ということから見て「模倣する」という意味は「習う」のみの固有の意味領域であるということがわかる。

(16)私は子供のころバレエを習って{??教わって・??学んで}いました。(日)

(17)私は最近スペイン語を習い{??教わり・?学び}始めました。(日)

(18)私は書道を習って{??教わって・??学んで}いますが、ほかにピアノやそろばんを習っている人もいます。(国)

(19)昨日は35ページまで習い{??教わり・??学び}ましたね。きょうはその先をやしましょう。(外)

(20)彼は恐ろしく鋭敏な、頭のいい男であった。ことに語学には天才であった。私と一緒にラテン語を習い{??教わり、?学び}だしたのであるが、私が辞書をひくにも苦労している頃に、彼は已に原書を相当楽に読みこなしていた。(坂)

(16)～(20)においては、「習う」にも「教えてもらう」という意味は少し残ってはいてもそれは薄く、ただ「学習する」「勉強する」という意として捉えられている。そして、文の焦点は教え側ではなく教わる対象であり、しかもその対象が「バレエ」「スペイン語」「書道」「35ページまで」のようにより具体的な範囲のものである場合は「教わる」と「学ぶ」は使われずに「習う」のみが使われているということがわかる。

(21)小学校と中学校ではカリキュラムが連続しておらず、例えば、英語にしてもいまは小学校でも習います{?教わります、?学びます}が、中学校に入ると再スタートといった感じで、それらは連続していません。(朝日)

(22)私は昔から好奇心旺盛でした。3歳のときからクラシックバレエ、ダンス、そろばん、水泳、学習塾……。やってみたいと思ったことは何でも習いました{?教わりました、?学びました}。(朝日)

(23)退職をきっかけに、手話サークルに通い始めました。初めての勉強会では、耳の聞こえないたくさんの方から手話で自己紹介をされ、手話のへたな私ひとりが矢面に立たされ

1) 「広辞苑」では「模倣する」という意味を「まねてする」という意として捉えている。p.2421

たようで緊張しました。家に帰っても興奮がさめやらない感じがする中、ノートに習った { ? 教わった、 ? 学んだ } 単語などを書き込みました…。(朝日)

(21)(22)(23)においても、「習う」は「学習する」「勉強する」という意として使われている場合である。ここにおいても文の焦点は教え側ではなく教わる対象にあり、しかもその対象も「英語」「バレエ」「ダンス」「そろばん」「水泳」「手話」のように具体的な範囲のものである。ということから見ると、文の焦点が対象にあり、しかもその対象の範囲がより具体的なものである場合は「習う」のみが使われているということがわかる。

(24)スケートを5歳で始めた浅田。それより前に習っていた{ ?? 教わっていた、 ? 学んでいた } のがバレエだ。(朝日)

(25)中川は11年公開のディズニー映画「塔の上のラプンツェル」で声優を務め、いとは小学生時代にスケートを習っていた{ ?? 教わっていた、 ? 学んでいた } ことからスペシャルサポーターに選ばれた。(朝日)

(24)(25)においても、文の焦点は対象にあり、その対象は「バレエ」「スケート」のように具体的なものである、ということで、「習う」のみが使われていると言える。

以上のことから、「習う」のみが使われている場合は、「習う」が「模倣する」、「学習する」、「勉強する」という意として使われる場合と、教えてもらう場合でも文の焦点が教え側ではなく教えられる対象にあり、しかもその対象がより具体的なものである場合であるとと言える。

### 3.3 「学ぶ」のみ可能である場合

(26)加藤さんと私は、同じ大学で学び{ ?? 教わり・ ?? 習い } ました。(日)

(27)自分だけで深く考えても、学問を広く学ぶ{ ?? 教わる・ ?? 習う } ことをしなければ、独りよがりに陥って危険である。(国)

(28)後、ブルジョア大学に経済学を学ぶ{ ?? 教わる、 ?? 習う } にいたり、ブルジョア経済学のタワイなさと大学教授の無気力、無能力に幻滅を感じた。(野)

(29)その年、私は京都大学の哲学科に入学して、直接西田先生に就いて学ぶ{ 教わる、 ? 習う } ことになった。(読)

(26)～(29)においては、「学ぶ」のみが使われる場合であり、「教わる」と「習う」を使うと、文は不自然になる。そして、これらにおいて、文の焦点は対象にあり、「学ぶ」は「学問する」という意味ニュアンスとして使われている。ということで、「学問する」<sup>2)</sup>という

意味は「学ぶ」の固有の意味領域であるということがわかる。

- (30)子供たちはキャンプ生活から、多くのことを学んだ{??教わった・??習った}。(日)
- (31)大自然の中でくらしているうちに、自然の仕組みを深く学び{??教わり・??習い}、大地のめぐみに感謝するようになった。(国)
- (32)女も男と同じように働き、学び{??教わり、??習い}、考える時代となり、尚上述の条件を男子側より否定されるならば、永遠に、女性の生命は内面の不平を堪えて男子を羨み続けるであります。(愛)
- (33)味覚は体験に学ぶ{??教わる、??習う}以外に道はない。良体験をもったものは、よい料理ができ、よい味覚がそなわり、幸せであり、美味しいもの食いの資格が高い。(魯)
- (34)討議という意見の発表と研究の方法を日本の人民は学ぶ{??教わる、??習う}べきであるといわれはじめてから、まだ五年しかたたない。(宮)
- (35)僕は今書いている歴史小説に、かなり多く「講談」から学んだ{??教わった、??習った}技法をとりいれている。(坂)

(30)～(35)においても「学ぶ」のみが使われる場合であり、これらに「教わる」と「習う」を使うと、文は不自然になる。これらにおいては、文の焦点が対象にあり、しかもその対象は「多くのこと」「自然の仕組み」「多様なこと」「味覚」「討議という意味の発表と研究の方法」「技法」のように抽象的、非具体的なものであり、かつこれらにおける「学ぶ」は「体得する」という意味ニュアンスとして使われている。ということからは、「体得する」という意味も「学ぶ」の固有の意味領域であるということがわかる。

- (36)授業に参加した児童には、天皇陛下が「東日本大震災から何を学びましたか{?教わりましたか??習いましたか}。(朝日)
- (37)個人個人の幸福は、社会全体の生活の安定を土台としてしかあり得ないことを学んだ{?教わった、??習った}とき、私たちのうちの誰が、自分だけを切りはなして、自分の不幸とくらしみのなかに、もがきつづけていたいと思うでしょう。(宮)
- (38)その小説をかき終って、伸子は一つのまじめな事実を学んだ{??教わった、??習った}。それは、佃も、女主人公の母も、女主人公そのものも、一人として悪人というような者はその関係の中になかった、ということである。(宮)
- (39)私はこれ等の真理を明らかにするために、無数の品物を顧みしました。そしてそこから何が正しい美しさなのかを学ぼう{??教わろう、??習おう}としました。(民)
- (40)あるいは和声やコントラプンクトや、曲全体の構造などについてはまだ多少学ぶ{??教わる、??習う}べき余地もあったであろう。ましてピアノ音楽史上の思潮を考え、自分の

2) 「広辞苑」には「学ぶ」の意味機能の一つとして「学問する」を挙げている。p.2421



立脚地を明かにする事については、更に幾多の研究を要したであろう。(音)

(41)四万十市竹島出身で「保育の父」と呼ばれた医師で教育者の佐竹音次郎(1864～1940年)について学ぶ{?教わる、??習う}講演会が24日、市立竹島小学校で開かれる。(朝日)

(42)塩崎さんは「現地に行って当時の真珠貝採りの苦労を見て、私をはじめ家族も知らなかった歴史を学びましたか{??教わりましたか、??習いましたか}」とたずねたり、皇后さまが「皆さんの学習も、少しでも被害を小さくすることにつながればね」と語りかけたりしていた。両陛下、最後の「こどもの日訪問」都内小学校を見学。(朝日)

(43)麻原彰晃はオウムを創始する以前、さまざまな新興宗教に関与し、それらの団体が公刊している著作を通して、霊性進化論の枠組みについて学んで{??教わって、?習って}いきました。(朝日)

(36)～(43)においても、「学ぶ」のみが使われる場合であり、これらにも「教わる」と「習う」を使うと、文は不自然になる。これについて、文の焦点が対象にあるので、「教わる」は不適當であり、しかもその対象が「何」「個人個人の幸福は、社会全体の生活を土台としてしかあり得ないこと」「一つのまじめな事実」「何が正しい美しさなのかという問題」「和声や弧とコントラプクトや、曲全体の構造について」「医者で教育者の佐竹音次郎について」「旅行も知らなかった歴史」「霊性進化論の枠組みについて」のように抽象的、かつ非具体的なものであるので「習う」も不適當であると言える。そして、ここにおける「学ぶ」は「会得する」という意味ニュアンスとして使われている、ということで、「会得する」という意味も「学ぶ」の固有の意味領域であるということがわかる。

(44)明治維新から今日まで、日本は、多くのことを西洋に学んで{??教わって・??習って}きたといえる。(国)

(45)今、先人たちの知恵を学び{??教わり・??習い}、それを新しい技術の中に生かしていくことが必要だと思う。(国)

(46)「よく学び{??教わり・??習い}、よく遊べ」と言うが、この学校の生徒は、男子も女子もこのことばのとおりである。(国)

(47)本格の芸術の使命は実に「生」を学び{??教わり、??習い}、「人間」を開顕して、新しき「いのち」を創造するところにある。(愛)

(48)今日では、人間一個の生活の歴史も、更によりひろい歴史との相互的なきさつの中で生きられたものとして眺め、学び{??教わり、??習い}たいという文化の感情にまで、私たちの世代が成長して来ているのもあると思う。(宮)

(49)ほとくの学んだ{??教わった、??習った}小学校は、甲辰尋常小学校で、六年生になると一中への受験準備をしなくてはならなかった。(山)

(50)通学受講コースは、「資格を取りたいけど、長時間の講習についていけるか」と不

安に思われている方にお勧めの講座となっており、全10時間の講習内容を2カ月間で4回に分けてじっくり学びます{??教わります、?習います}。(朝日)

(51)林理事長は「絵本や紙芝居を通じて、子どもたちに人権や思いやりについて学んで{??教わって、??習って}ほしい」と期待する。(朝日)

(52)牛木辰男医学部長(56)は「医療もチームプレーが大切。リーダーになること、リーダーを支えることとはどんなことか、学生たちに学んで{??教わって、??習って}もらえれば」と話した。(朝日)

(53)「会計に苦手意識がある社長」、「会社の数字は難しいので経理や会計事務所に任せている」という社長に学んで{??教わって、?習って}頂きたい講座であり、月次の試算表を重要な経営判断情報として活かし、役立てる方法を解説します。(朝日)

(54)若い方には、日本の歴史、中でも戦争に突き進んでいった経緯を、特に学んで{??教わって、??習って}ほしいと切に願っています。(朝日)

(55)その他、独立開業したオーナーが多く在籍していますので、交流会による情報交換・ノウハウ交換により有機的に経営を学んで{??教わって、?習って}いただくことが可能です。(朝日)

(44)～(55)においては、文の焦点が対象にあるので「教わる」は不適當であり、しかもその対象が「多くのこと」「先人たちの知恵」「様々なこと」「生」「人間一個人の生活の歴史」「様々なこと」「全10時間の講習内容」「人権や思いやりについて」「リーダーになること、リーダーを支えることとはどんなことか」「月次の試算表を重要な経営判断情報として活かし、役立てる方法」「日本の歴史、中でも戦争に突き進んでいった経緯」「経営」のように抽象的、かつ非具体的なものなので「習う」も不適當であるということがわかる。このことから、文の焦点が対象にあり、しかもその対象が抽象的、非具体的なものの場合には「学ぶ」のみが許容されるということがわかる。

以上のことから、「学ぶ」のみが使われる場合は「学ぶ」が「学問する」「体得する」「会得する」という意味として使われている場合と、文の焦点が対象にあり、その対象は抽象的、かつ非具体的なものである場合であると言える。

## 4. 二語が可能である場合

### 4.1 「教わる」と「習う」が可能である場合

(56)来週から青木さんの家で、お花を教わる{習う・??学ぶ}ことになりました。(日)

(57)私は父に教わった{習った・??学んだ}とおりのやり方で、魚をつかまえた。(日)

- (58)私は高校生のとき、吉田先生に数学を教わった{習った・??学んだ}。(日)  
(59)だれに教わら{習わ・??学ば}なくとも、生まれたばかりの子ねこたちには、お母さんのおっばいがわかるのです。(国)  
(60)わたしたちは、中学生の時松本先生から英語を教わり{習い・??学び}ました。(国)

(56)～(60)において、「教わる」を使うと、文の焦点がだれからとか、だれにの「だれ」、すなわち教え側に置かれるし、「習う」を使うと、文の焦点は対象に置かれ、しかもその対象がより具体的なものになる。そして、「習う」の方が「教わる」よりは自分が何かを習得することに焦点が置かれているのではないかと思われる。

- (61)私は習った{教わった・??学んだ}ことはないけれど、ギターが弾ける。(日)  
(62)料理なんて習わ{教わら・??学ば}なくても、慣れればじょうぶになりますよ。(日)  
(63)我流で覚えるより、基礎は先生に習った{教わった・??学んだ}方がよいようだ。(国)  
(64)学校では毎日五時間ずつ日本語を習って{教わって・?学んで}います。(外)  
(65)あの先生にピアノを習え{教われ・??学べ}ばもっとじょうずになるでしょう。(外)  
(66)わたしたちは英語をスミス先生に習って{教わって・??学んで}います。(外)  
(67)外国人が日本語を習う{教わる・??学ぶ}ときの難しさの一つに、文字の種類が多い点が挙げられる。(国)

(61)～(67)においても、「教わる」を使うと、だれかから教えてもらったというのが強く感じられる。すなわち、文の焦点は教え側に置かれるのである。そして、「習う」を使うと、文の焦点は教え側ではなく教わる対象に置かれるし、その対象はより具体的なものとして感じられる。

- (68)「わしは仙人じゃ」とお爺さんは答えました。よく見ますと、まっ白な長い髷ひげがはえていて、手には節ふしくれ立った杖をつき、何だかわからないぼろぼろの着物をきて、なるほど仙人らしいようすでした。五右衛門は喜びました。仙人ならいろんな術を知ってるに違いないから、それを教わって{習って、?学んで}、上手な泥坊になろうと考えました。(豊)

文(68)においては、仙人に教えてもらうという文章なので、「教わる」は使われていても自らが習得するというニュアンスの強い「学ぶ」はやや不自然である。文の焦点が対象に置かれる「習う」は可能であるが、この場合その対象はより具体的なものとして感じられる。

- (69)D君は現在教育制度の欠陥を論じて、日本人は小学から大学までただ満員電車にぶら下がる術を教わる{習う、?学ぶ}ばかりだと云った。E君は、国民の哲学的宗教的背景が欠けている事を痛論した。X君とZ君だけは自分の大浴場説に賛成した。(寺)

(70)学校は、やらされねばならない人間のためにある。自分で努力し研究するひとなら、なにも別に学校へ行かなくともよい。とはいうものの、習ったから、自分でやったからといって、大きな違いがあるわけでもない。字でいえば、習った{教わった、??学んだ}「山」という字と、自分で研究し、努力した「山」という字が別に違うわけではない。(魯)

(69)(70)においても、「教わる」を使うと、誰かに教えてもらったというところ、すなわち教え側に焦点が置かれるのに対し、「習う」を使うと、文の焦点が対象に置かれるし、教えてもらって、身に付ける方に焦点が置かれるように思われる。そして、対象が「満員電車にぶらさがる術」「山」という字のような具体的なものなので、「学ぶ」は使われない。

(71)けれどもその二三分の短い間に、私がハッサン・カンの魔術の秘法を習う{教わる、??学ぶ}資格のない人間だということは、私自身にもミスラ君にも、明かになってしまったのです。私は恥しそうに頭を下げたまま、しばらくは口もききませんでした。(芥)

(72)女学校へ来て味噌汁のこしらえ方を習う{教わる、??学ぶ}人はない。それより大切なのは、思想を養うということで、味噌汁を拵えるのは、下手だけれども、ここに政治の問題が出た、それはこう、生活の問題が出た、それにはこうと、判断して行く。(新)

(73)となりの加市(かいち)君が、いま習っている{教わっている、?学んでいる}のは十課だということ指でさして教えてくれた。もう十課まで進んだのか。久助君は、八課の「雨の養老」を習っていた{教わっていた、?学んでいた}とき、なんとなく左のほおが重いのに気がつき、その日から休んだのだった。(牛)

(74)しかし、西洋の彫刻を西洋人の教師から習っている{教わっている、?学んでいる}ということは、聞くだけでも羨望せんぼうに堪えぬわけでありますから、何かにつけ、その噂を聞くことさえも心が惹ひかれるのでありましたが、或る人の話に、工部学校では、木彫りはやらないのだそう。(幕)

(75)日本の古典なども、僕らが学生時代にしきりに古典復興を唱えている先生たちから習って{教わって、??学んで}置かなければ、今もと読みなおしてよい気持が起るのではなからうか。名曲など下手な演奏者の手にかかるると、ひとからその名曲が与える真のよろこびを取り去ってしまうものである。(定)

(71)～(75)においても、「教わる」の方が誰かが教えてくれたというニュアンスがより強く感じられる。すなわち、文の焦点は教え側に置かれているのである。一方、「習う」を使うと、文の焦点が対象に置かれるし、その対象はより具体的なものとして感じられる。対象が「魔術の秘法」「味噌汁のこしらえ方」「十課」「八課の「雨の養老」」「西洋の彫刻」「日本の古典」のような具体的なものなので、「学ぶ」は使われない。

(76)明治十四年、七つの時、仏光寺の開智校と申す小学校に入学致しましたが、この

時分から私は絵が好きで、四条に野村という儒者が居られましてこの方から絵を習いました{教わりました、??学びました}。(青)

(77)これらの娘たちは、伯母の所へ茶や縫物や生花を習い{教わり、?学び}に来ている町の娘たちで二三十人もいた。(昭)

(78)いつでも算術の点数が悪いので両親は心配して中学の先生を頼んで夏休み中先生の宅へ習い{教わり、??学び}に行く事になった。(寺)

(79)小さい私は、そのテーブルのわきに立って、やがてオートサマと紙からあふれるような字を書くことを習った{教わった、??学んだ}。(宮)

(76)～(79)においても、「教わる」を使った方が誰かに教えてもらったという感じが強い。「習う」を使うと、文の焦点が対象に置かれるし、その対象はより具体的なものとして感じられる。すなわち、文の焦点は教え側ではなく教われる対象に置かれるのである。一方、対象が「絵」「茶や縫物や生花」「算術」「字を書くこと」のように具体的なものなので、「学ぶ」は使われない。

(80)「普通のクラスより少ない8人だけなので、苦手なところも先生に丁寧に教わる{習う、??学ぶ}ことができた」と5年の吉田一華さん(10)。将来の夢は看護師という。(朝日)

(81)日本の算数教科書を使った授業は、子どもが自分で答えを考える「問題解決力」に重点を置く。教師から解法を教わる{習う、??学ぶ}米国式と勝手が違っていた。それでも昨夏に訪日し、教員同士が学び合う「授業研究」を体験。(朝日)

(80)(81)においても、「教わる」を使うと、誰かに教えてもらったというニュアンスが強く感じられるし、「習う」を使う、文の焦点が対象に置かれるようになり、しかもその対象はより具体的なものとして感じられる。(80)(81)において、「苦手なところ」「解法」のように対象が具体的なものなので「学ぶ」は不自然である。

(82)マグロは長崎県・対馬産で重さ約42キロ。頭を切り離した後、10分ほどで5枚にさばかれ、部位ごとに切り分けパック詰め。赤身1千円、中トロ2千円、大トロ3千円で先着100人に販売された。ほかに旬の鮮魚が市価の3～4割引きで売られ、魚のさばき方を教わる{習う、??学ぶ}コーナーも置かれた。(朝日)

(83)横浜市磯子区から来た中2の長谷川実紀(みのり)さん(13)は数学が嫌いだった。4月、8人学級で教わる{習う、??学ぶ}と、「私にもできるかも」と思えるようになった。(朝日)

(84)おばあちゃんの味伝授 東京都桧原村で29日、村のおばあちゃん・ヒロ子さんから、そば打ちやうどん打ち、おやき・こんにゃく作りを教わる{習う、??学ぶ}催しが開かれる。

(朝日)

(85)成績が落ちた時期もあったが、苦手な数学を先輩から教わる{習う、??学ぶ}ことで克服できたという。「後輩が来たら、自分も手助けをしてあげたい」(朝日)

(82)~(85)において、「教わる」を使うと、誰かが自分に教えてくれたという感じが強いが、「習う」を使うと、文の焦点は対象に置かれるし、自分が習得したという感じが強い。そして、「習う」の方が「学ぶ」よりは、その対象の範囲が具体的なものとして感じられる。対象が「魚のさばき方」「数学」「そば打ちやうどん打ち、おやき、こんにゃく作り」「数学」のような具体的なものなので、「学ぶ」は使われないのである。

(86)30年前、まだ医学生だった時「がんの三大治療」と習いました{教わりました、??学びました}。手術、抗がん剤、放射線治療のことです。これは現在も変わりません。(朝日)

(87)若いころに習った{教わった、??学んだ}楽器をもう一度、という人もいるが、約7割が初心者という。初心者にお勧めの楽器というはあるのだろうか。この音楽教室を担当する大友茂さんは「人気があるのはピアノ。すぐに音が出るし、クラシックからポピュラーまで幅広く楽しめます。(朝日)

(88)花嫁修業として「料理を勉強した」女性は4人に1人……「母親に習った{教わった、??学んだ}」よりも「自分で勉強した」が多数派また、「結婚前に、花嫁修業として料理を勉強しましたか?」という質問をしたところ、「した」という女性は27%で、約4人に1人。(朝日)

(89)「『ごきげんよう』は相手の健康を祈る気持ちを込めた言葉で、別れるときなどのあいさつの言葉」と習った{教わった、??学んだ}気がしますが、当時はまるで呪文のようでした。(朝日)

(86)~(89)においては、「教わる」を使うと、文の焦点は誰かに教えてもらったというところ、すなわち教え側に置かれるし、「習う」を使うと、文の焦点は対象に置かれるようになる。対象が「がんの三大治療」「楽器」「料理」のように具体的なものなので、「学ぶ」は使われない。

以上のことから、「教わる」を使うと、文の焦点は誰かに教えてもらったというところに、すなわち教える側に置かれるし、「習う」を使うと、文の焦点は対象に置かれ、その対象の範囲はより具体的なものとして感じられるということが言える。

## 4.2 「教わる」と「学ぶ」が可能である場合

- (90)わたしがその牧師から教わった{??習った・学んだ}ものは、人のために命を投げ出すという姿勢だった。(国)
- (91)今回の経験から私は、友情の尊さを学んだ{教わった・??習った}。(日)
- (92)伝記を通して、わたしたちは、実にさまざまなことを先人に学ぶ{教わる・??習う}ことができる。(国)
- (93)わたしたちは、その事実からさまざまなことを学ぶ{教わる・??習う}ことができる。(国)

(90)～(93)において、「教わる」を使うと、文の焦点はだれかが教えてくれて、自分が習得したというところに置かれ、「学ぶ」を使うと、文の焦点は対象に移り、その対象が抽象的、非具体的なものになる。ここにおいて、対象が「人のために命を投げ出すという姿勢」「友情の尊さ」「さまざまなこと」「さまざまなこと」のように抽象的、非具体的なものなので、「習う」は使われない。

- (94)その時にはわれわれはもう少し謙遜な心持ちで自然と人間を熟視し、そして本気でまじめに落ちて自然と人間から物を教わる{??習う、学ぶ}気になるであろう。(寺)
- (95)吾々はその模様や色彩で更に自然の美しさを教わる{??習う、学ぶ}のです。もしも沖繩で美しい自然を見たら、それは「びん型」の如く美しいとそう呼んでよいのです。(民)
- (96)個々の作家の才能だけきりはなしてどんなに評価しても、全般にこうむる文化暴圧に対抗するにはなんの力でもなかったことを、まず学んだ{教わった、??習った}。(宮)
- (97)科学部員でSSHの授業にも積極的な普通科2年の堂浦いつ貴さんは「わからない専門用語や計算式もあるが、教養理学科の生徒に教わる{??習う、学ぶ}などしている。実験や研究はおもしろく、理系大学への進学も良いかもしれない」と話した。(朝日)

(94)～(97)において、「教わる」を使うと、誰かが教えてくれたという感じが強いが、「学ぶ」を使うと、文の焦点は対象に置かれるし、その対象は抽象的、かつ非具体的なものになり、教えてもらうというよりは、自ら習得したという感じが強くなる。ここにおいて、対象が「物」「自然の美しさ」「なんの力もなかったこと」「わからない専門用語や計算式」のように抽象的、非具体的なものなので、「習う」は使われない。

以上のことから、「教わる」を使うと、文の焦点は誰かに教えてもらったというところに、すなわち教え側に置かれるし、「学ぶ」を使うと、文の焦点は対象に置かれ、その対象は抽象的、非具体的なものとして感じられるということが言える。

### 4.3 「習う」と「学ぶ」が可能である場合

(98)我が国では昔から女が絵を習う{??教わる、学ぶ}ということは極く稀なことでありましたが、近頃はどんどんその数を増しております。(青眉)

(99)それでも母は洋画を習う{?教わる、学ぶ}希望をすてず、上野へ行って規則を調べたりもしたらしいが、当時美術学校は女の生徒を入れないことになっていた。そう云って断られた。(宮)

(98)(99)において、文の焦点が教え側「誰に」ではなく対象「何を」に置かれているため、「教わる」は不自然であり、「学ぶ」より「習う」を使った方が、同じ対象「絵」「洋画」でありながらも対象がより具体的に感じられる。そして、「習う」より「学ぶ」を使った方が自ら習得するという感じが強く、「学ぶ」の方に積極性が感じられる。

(100)国民教育省によると、中国語を習う{??教わる、学ぶ}中高生は3万4千人(2012年度)。まだ全体の1%に満たないが、それでもこの10年で5倍になった。(朝日)

(101)上海では少しは英語が通じましたが、漢口では英語も通じません。中国語はできませんでしたから入門書を買って、あとは向こうで習いました{?教わりました、学びました}。(朝日)

(102)大学生 笹山大志 (韓国20)

韓国語を学ぶ{??教わる、習う}ため留学している。先月、珍島(チンド)沖で高校生が犠牲になる旅客船沈没事故が起きた。(朝日)

(103)書写を学ぶ{??教わる、習う}ことは、技術的な成長の他に、気持ちを落ち着けて集中する時間を持つことにより、ご自身の精神性の高まりも期待できます。(朝日)

(100)~(103)においては、文章自体が教えてもらうということを言いたいわけではないから「教わる」は使われない。「習う」を使うと、対象がより具体的に感じられ、勉強するという意も強く感じられる。「学ぶ」を使うと、対象の意味が広く、少しかたい感じがするが、自らが習得するという意が強く感じられる。

(104)牛山英彦教育長は縄文科の意義について「自給自足で争いがなかったと言われる縄文人の生活や精神性を子どもたちが学ぶ{??教わる、習う}ことは、現代社会の様々な問題を解決する力を身につけることにつながるし、自分の生き方へのヒントにもなる。(朝日)

(105)今回の講座では、山形県の伝統文化や地域産業などから後世に伝えたい「カタチ」を発見し、3Dプリンター向けにデザインするプロセスを実習を通じて学びます{??教わります、習います}。(朝日)



(104)(105)において、「習う」を使うと、対象の範囲がより狭く感じられるし、かつ学習する、勉強するという意が強く感じられる。これに対して「学ぶ」を使うと、対象の範囲がより広く感じられるし、かつ自らが習得するという意も強く感じられる。

(106)また、様々な肌トラブルに対応する有用な植物の知識や、手軽に出来るホームケアのテクニック等を通じて、暮らしの中で、安全・安心なオーガニックライフを実践する方法を学びます{??教わります、習います}。(朝日)

(107)情報通信技術の活用と経営戦略に興味のある皆さん、一緒に学びましょう{??教わりましょう、習いましょう}。講義や演習を通じて自身も成長していきたいと考えています。(朝日)

(108)ポルトガル語を学習しながら、ブラジルのことを学びましょう{??教わりましょう、習いましょう}!!

Ustream 番組 『BRARIO TV!』 ※ほぼ隔週 水曜日 20:00～21:00 (朝日)

(106)(107)(108)においても、文章自体が教えてもらうということを言いたいわけではないから「教わる」は使われない。「習う」を使うと、「学習する」「勉強する」という意として捉えられるし、その対象はより具体的なものとして感じられる。そして、「学ぶ」を使うと、自ら習得したというニュアンスが強く感じられるし、その対象はより抽象的、非具体的なものとして感じられる。

以上のことから、「習う」を使うと、「学習する」、「勉強する」という意として捉えられるし、その対象はより具体的なものとして感じられる。そして、「学ぶ」を使うと、自ら「習得する」という意として捉えられるし、その対象はより抽象的、非具体的なものとして感じられるということが言える。

## 5. 三語が可能である場合

(109)今までに習った{教わった・学んだ}漢字の中で、うろ覚えのものは何回か書いて覚えてしまいなさい。(国)

(110)彼は大学で学んだ{教わった・習った}ことを生かして、製薬会社で研究をしている。(日)

(111)多くの人々の成功や失敗の経験に学び{教わり・習い}、また、自分自身体験を積み重ねて、成長していこう。(国)

(109)(110)(111)において、「教わる」を使うと、文の焦点はだれかが教えてくれたというところに、すなわち教え側に置かれるし、「習う」と「学ぶ」を使うと、文の焦点はその対象に置かれるが、「学ぶ」の方がその対象の意味が広く、自分が習得したということに焦

点が置かれる。「習う」の場合はその対象がより具体化されるように感じられる。

(112)兄は、大学で数学を学び{教わり・習い)、優秀な成績で卒業した秀才だ。(国)

(113)祖父は、六十の手習いだよ、と言いながら、今年から俳句を学んで{教わって 習って}いる。(国)

(114)今までに習った{教わった・学んだ}漢字の中で、うろ覚えのものは何回か書いて覚えてしまいなさい。(国)

(112)(113)(114)において、「教わる」を使うと、誰かに教えてもらったというところに、すなわち教え側に文の焦点が置かれるようになる。「習う」と「学ぶ」を使うと、文の焦点はその対象に置かれるが、「学ぶ」の方が対象の範囲がより広く感じられるし、文は少しかたい感じがする。

(115)今年十八歳 であったが、頭が非常によくって、寺子屋で教わる{習う、学ぶ}読み書きそろばんはいつも一番であった。(あ)

(116)重兵衛さんの次男で自分よりは一つ二つ年上の亀さんからも実に色々のことを教わった。彼はたしかに一種...そういう種類の、学校では教わる{習う、学ぶ}ことの出来ない知識が存在するということ、そういう知識が貴重なものだということを、この亀さんに教わったのである。(寺)

(117)地理学書でもまた物語でも読んで知っていたアトリオ・デル・カヴルロとかソمامとか、こういう名前も何となく嬉しく、また地質学者から教わる{習う、学ぶ}色々の岩石の名前も珍しかったと見えてよく覚えている。(寺)

(115)(116)(117)において、「教わる」を使うと、誰かに教えてもらったというところに、すなわち教え側に文の焦点が置かれるようになる。これに対して「習う」と「学ぶ」を使うと、文の焦点はその対象に置かれるが、「学ぶ」の方が「習う」よりその対象の範囲が広く感じられるし、かつ自らが習得したということがより強く感じられる。

(118)常日頃私は今の女子教育がまだまだ真の文明教育の趣意に遠ざかっていると思っております。女子大学などと申す立派な名義の学校まで出来ながら、多数の生徒は何を習って{教わって、学んで}いるかといえば、良妻賢母主義の倫理と家政科と言う割烹の御稽古とが主になっております。(与)

(119)また、卒業後官庁や会社に入って相当出世した先輩たちの、「大学で習った{教わった、学んだ}ことそれ自身は何の役にも立たない、習った{教わった、学んだ}ことをすっかり忘れてしまった頃になって初めて一人前の役人なり会社員になれるのだ」というような話を聞いても、なるほどそういうものかなと感心するぐらいのことで、深くその訳を考えて

みる気さえ起きなかったような次第であった。(役)

(120)私たちは西洋史も東洋史も国史も習って{教わって、学んで}来たわけであった。けれども、今より進歩した欲求で人類の文化の跡を見直したいと思う時それらの知識は散漫なものだと感じられる。(宮)

(118)(119)(120)において、「習う」と「学ぶ」よりは「教わる」の方が誰かが教えてくれたというニュアンスが強く、そして「習う」よりは「学ぶ」の方が自らが身につけたという感じ、すなわち自らが習得したという感じが強い。

(121)私がハッサン・カンから学んだ{教わった、習った}魔術は、あなたでも使おうと思えば使えますよ。(芥)

(122)私は本の読み方をハイデッゲル教授から学んだ{教わった、習った}ように思う。(読)

(123)我々は西洋文明からも大いに学ぶ{教わる、習う}べきところがあり、従っていくぶんかの外来語を不可欠の悪として見逃がすだけの雅量をもっていなければならない。(九)

(121)(122)(123)において、「教わる」を使うと、誰かが教えてくれたということに焦点があり、「習う」は教えられて自分が身につけたということに焦点があるように思われる。「学ぶ」を使うと、自らが習得したということが強く感じられると同時に、対象は「習う」の文より、抽象的で広く感じられる。

(124)机や椅子の足は何も四本でなくても三本でちゃんと役に立つ、のみならず四本にするどどれか一本は遊んでいて安定位置が不確定になる恐れがあるというのは物理学初歩で教わる{習う、学ぶ}ことである。(寺)

(125)しかし、あいにく生徒と云うものは学科以外の何ものをも教わり{習い、学び}たがらないものである。いや、教わり{習い、学び}たがらないのではない。絶対に教わることを嫌悪するものである。(芥)

(124)(125)において、「教わる」を使うと、誰かが自分に教えてくれたという感じが強いが、「習う」と「学ぶ」を使うと、「教わる」より、自ら習得したというニュアンスが強く、更に「習う」よりは「学ぶ」の方が対象の範囲も広く自ら習得したというニュアンスが強い。

(126)京料理店主人の戸村仁男さんに教わる{習う、学ぶ}「サヨリの昆布じめ」は、身質の硬い白身をおいしくする工夫にあふれています。魚を昆布に直接挟む作り方とは違い、水で出した濃い昆布だしに短時間漬ける。昆布が縁の下の力持ちとしてうまみを加え、刺し身にはない魚の香りを感じる。(朝日)

- (127) 幼児のころから言葉遣いで他人を気遣うことを教わる{習う、学ぶ}とは、将来は明るい。4 歳児から教えられることが多い 1 日だった。(朝日)
- (128) 腹話術は独学より、専門家に教わる{習う、学ぶ}のが上達の早道だ。講座を設けているカルチャーセンターが各地にあるほか、全日本あすなろ腹話術協会は全国に支部やサークルがある。人形は数千円から10円を超えるものまで様々。(朝日)
- (129) 《昔は、学校は読み書きそろばんを教わる{習う、学ぶ}所で、生きることは親が教えるのが当たり前でした。》自然と小野田は、自分で物事を考え、洞察するようになっていった。(朝日)

(126)～(129)において、「教わる」を使うと、誰かに教えてもらったというニュアンスが強く、「習う」と「学ぶ」を使うと、自らが習得したという意味が強い。「学ぶ」より「習う」の方がその対象が具体化されるような感じがする。

- (130) 米国では教育行政の権限は州にある。このため、どの学年で何を習う{教わる、学ぶ}かは各州が基準を設けてきた。地域間の学力格差が問題になると、連邦政府が全米規模の対策に乗り出し、02年には「落ちこぼれ防止法」が施行された。(朝日)
- (131) 世界中にいる講師は、経験豊かな語学の専門家から起業家、画家、俳優、シンガー、海外に長く住む日本人など顔ぶれも多彩で、数学や科学を英語で習う{教わる、学ぶ}、海外ドラマで英会話、イタリア語で料理レシピ、フランス語でマナー講座など、2,700件を超えるレッスンから選ぶことができるのが特徴です。(朝日)
- (132) 小さいころから人前で話す訓練を受ける欧米と異なり、日本では声の出し方を習う{教わる、学ぶ}機会はほとんどない。(朝日)
- (133) 一足の靴をずっと大事に履いていけるなら、私にはうってつけ！そう思って、靴磨きを習う{教わる、学ぶ}ことにしたんです。(朝日)
- (134) 私は学校の歴史の授業で、「戦前つくられた治安維持法が拡大解釈され、言論の自由(朝日)がほとんどなくなった」と習いました{教わりました、? 学びました}。(朝日)
- (135) 英語も、大学時代に京都の元古美術商の日系2世の方から、スピーチの仕方などを習いました{教わりました、学びました}。卒業までには、どちらも不自由なく操れるようになっていました。(朝日)

(130)～(135)において、「教わる」を使うと、誰かから教えてもらうという感じがし、「学ぶ」を使うと、自ら習得するという感じが強い。そして、「習う」よりは「学ぶ」の方がその対象がより抽象的で意味が広いように感じられる。

- (136) 疲れたら赤ちゃんを看護師さんに預けて眠り、合間に授乳やお風呂の入れ方を習います{教わります、学びます}。(朝日)

- (137) 「あいさつの仕方を習いました{教わりました、学びました}。最初と最後のあいさつだけは腰を90度ぐらい曲げなさいって」。あこがれの綾瀬はるか(27)や石原さとみ(26)からもメールを送られたという。(朝日)
- (138) 医学部の授業で習ったような、習わなかったような……お薬の一般名や副作用はたしかに、ちゃんと習いました{教わりました、?学びました}。白血病や悪性リンパ腫の治療薬としては、習いました{教わりました、学びました}。そしてイザ、医者になり白血病の患者さんを目の前にして、「よし、習った薬で治そう」と意気込みました。(朝日)
- (139) 私も教習所では(交差点などで)『車が来るだろう』と危機管理をしながら、運転することを習いました{教わりました、学びました}。(朝日)
- (140) ドラマ『エデンの東』や待機作の映画『マイウェイ 12,000キロの真実』など、話題作への出演が続いているヨニは、今回獣医役を演じるにあたって、「乗馬や馬と仲良くなるコツを習いました{教わりました、学びました}。動物と演技をするのはやっぱり大変ですが、動物は好きですね」とコメントした。(朝日)
- (141) 「技に触れる意義」RCAのW・ダグワーシー教授ブリオーニとのコラボで、1年目にタキシード、2年目にトラベルジャケット、3年目の去年はシャツジャケットの作り方を習いました{教わりました、学びました}。ブリオーニは手仕事で一着を作る。肩や袖、身頃など各部分で伝統技を持つ熟練の職人に直接学ぶ{教わる、習う}ことは学生にとって有意義です。(朝日)
- (142) この日の算数では、村内君が別の教室に移って「展開図」を学び{教わり、習い}、6年生は副担任から「確率」を習った{教わった、学んだ}。(朝日)
- (143) 府の事業は、基本的に非常勤講師が病院に出向く。週3回(1回2時間)、最大計6時間、生徒側が学びたい{教わりたい、習いたい}教科を指定できる。(朝日)

(136)～(143)において、「習う」を使うと、「学ぶ」より対象がより具体的に感じ、勉強するという意味が強く感じられる。「学ぶ」を使うと、その対象の意味が広く、少しかたい感じがする。「教わる」を使うと、教えてもらうという意味が強く感じられる。

- (144) お父さんはこう教えてくれました。「これから郵便局の人がたくさんの手紙を送り先ごとに分け、大きなトラックで運転手さんが大切に運ぶんだ。えひめ県に着くと、また送る住所ごとに分けて、バイクの人が相手の学校までとどけてくれるんだよ」。わたしは郵便のしくみを学びました{教わりました、習いました}。(朝日)
- (145) ワインやワインを取り巻く基礎知識力。ブドウ品種や製法や産地そして法律上さまざまに分類がされるワインを整理し、効果的な学習方法を学びます{教わります、習います}。(朝日)
- (146) 世界史、食文化、思想・哲学、宇宙論、そして美術について、ライフネット生命会長・出口治明さん、作家・島田雅彦さん、思想家・東浩紀さんたちに学びます{教わります、習います}。(朝日)

(144) (145) (146)において、「教わる」を使うと、だれかに教えてもらうという感じが強いし、「習う」を使うと、「学ぶ」よりもその対象が具体的で勉強するという感じが強い。そして、「学ぶ」を使うと、その対象の範囲がより広く感じられるし、自ら習得するという感じが強い。

以上のことから、「教わる」を使うと、誰かから教えてもらうというところに、すなわち教え側に文の焦点が置かれるし、「習う」と「学ぶ」を使うと、文の焦点は対象に置かれる。

「習う」の方が「学ぶ」よりは対象の範囲が狭い感じがし、学習する、勉強するという感じが強い。そして、「学ぶ」を使うと、その対象がより抽象的で意味が広いような感じがし、自ら習得するという感じが強いということが言える。

## 6. 結び

「教わる」のみが使われる場合は「教わる」が「聞く」という意として使われる場合と、「教えてもらう」という意として使われる場合であるが、後者の意として使われる場合、文の焦点は教え側に置かれる。

「習う」のみが使われる場合は「習う」が「模倣する」「学習する」「勉強する」という意として使われる場合と、教えてもらう場合でも文の焦点が教え側ではなく教えられる対象にあり、しかもその対象がより具体的なものである場合である。

「学ぶ」のみが使われる場合は「学ぶ」が「学問する」「体得する」「会得する」という意として使われる場合と、文の焦点が対象にあり、その対象が抽象的、かつ非具体的なものである場合である。

固有の意味領域という角度から言うと、「聞く」という意として使われる場合は「教わる」のみが、「模倣する」「学習する」「勉強する」という意として使われる場合は「習う」のみが「学問する」「体得する」「会得する」という意として使われる場合は「学ぶ」のみが使われるし、文の焦点という角度から言うと、教え側に文の焦点が置かれる場合は「教わる」のみが、教えられる対象に文の焦点が置かれる場合は「習う」と「学ぶ」が使われるが、その対象の範囲の広さによって「習う」と「学ぶ」の使い分けが違ってくる。すなわち、その対象の範囲が具体的な場合は「習う」が、広く抽象的、非具体的な場合は「学ぶ」が使われるのである。

一方、「教わる」「習う」「学ぶ」が同時に許容される場合はその文章自体の意味が解釈次第によって三つの語の意味機能を満たすことができる場合であると言える。

## 【参考文献】

- 新村出 (1991) 『広辞苑』岩波書店 p.359 p.1929 p.2421  
遠藤織枝外 4 人 (2003) 『類語例解辞典』小学館 p.622  
広瀬正宜 (1996) 『日本語学習使い分け辞典』講談社 p.168  
森田良行 (1985) 『基礎日本語 I 一意味と使い方』角川書店 pp.127-129  
宮島直夫 (1972) 『動詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版 pp.693-708  
Izuru, Shinmura. (1991). Kojien. Iwanami Shoten. p. 359, p. 1929, p. 2421.  
S. Endou et al. (2003). A Dictionary of Synonyms in Japanese. Shogakukan. p. 622.  
Masanobu, Hirose. (1996). Effective Japanese Usage Guide. Kodansha. p.168.  
Yoshiyuki, Morita. (1985). Basic Japanese I—Meaning and Usage. Kadokawa Shoken. pp.127-129.  
Tatsuo, Miyajima. (1972). Technical Research on the Meaning and Usage of Verbs. pp.693-708.

## 【例文出典】

- 『日本語学習使い分け辞典』講談社(日)  
『国語基本用例辞典』教育社(国)  
『外国人のための基本語用例辞典』文化庁 (外)  
『燃ゆる類・聖家族』新潮文庫、新潮社 (燃)  
『昭和文学全集 第6巻』小学館 (昭)  
『寺田寅彦全集 第二巻』岩波書店 (寺)  
『偶像再興・面とペルソナ 和辻哲郎感想集』講談社 (像)  
『宮本百合子全集 第十六巻』新日本出版社 (宮)  
『坂口安吾選集 第十巻エッセイ1』講談社 (坂)  
『読書と人生』新潮文庫、新潮社 (読)  
『野呂栄太郎全集 下巻』新日本出版社 (野)  
『愛よ、愛』パサージュ叢書、メタログ (愛)  
『魯山人の食卓』グルメ文庫、角川春樹事務所(魯)  
『音楽と生活 兼常清佐随筆集』岩波書店(音)  
『山之口猷詩文集』講談社文芸文庫、講談社(山)  
『豊島与志雄童話集』海鳥社(豊)  
『芥川竜之介全集3』ちくま文庫、筑摩書房 (芥)  
『新渡戸稲造論集』岩波文庫、岩波書店 (新)  
『牛をつないだ樺の木』角川文庫、角川書店 (牛)

- 『幕末維新懷古談』岩波文庫、岩波書店（幕）  
『定本織田作之助全集 第八卷』文泉堂出版(定)  
『青帛の仙女』同朋舎出版(青)  
『民芸四十年』岩波文庫、岩波書店（民）  
『青眉抄・青眉抄拾遺』講談社(青眉)  
『あたまでっかち——下村千秋童話選集——』茨城県教育委員会(あ)  
『与謝野晶子評論集』岩波文庫、岩波書店（与）  
『役人学三則』岩波現代文庫、岩波書店{役}  
『九鬼周造隨筆集』菅野昭正編、岩波文庫、岩波書店{九}  
『朝日新聞』 www.asahi.com(朝日)

투 고 일 : 2015. 8. 31
심 사 일 : 2015. 9. 12
게재확정일 : 2015.10. 3